

▽本部町の児童の皆さんと交流を深めました



あったけれど、海では初めて水しぶきがかかったりスピードもものすごく速くて、おもしろかったです。水泳体験では、エメラルドビーチで友達といっしょに遊びました。沖縄の海は透明度が高く、水面はキラキラ光っていてとてもあたたかかったです。海にもぐると、小さな魚やへびのような魚がいて、「たくさんいますよ」と思いました。

3つ目はホームステイです。今年の冬、ぼくの家に泊まった6年生の比嘉剣児君の家にホームステイすることになったので楽しみにしていました。まず、夕食にソーキそばとゴーヤチャップルーなど沖縄料理をごちそうになりました。庭で育てられたパッションフルーツを初めて食べましたが、少し酸味があつてツブツブの種の食感が独特で、とても気に入りました。夕食が終つてから、ポウリングに連れて行つてもらつたり、花火をしたりして、楽しい夜を過ごすことができました。朝起きて朝食を食べ

てから、キャッチボールをして遊んだことも思い出に残っています。

4つ目は、平和の礎と平和祈念資料館です。僕は平和の礎を見て太平洋戦争でこんなにも多くの命がうばわれてしまったので、もう二度とこんな戦争を起してはいけなと思ひました。平和祈念資料館では、戦場の生々しい写真や模型を見たり、沖縄の住民の証言、町や村をモニター画面で見てもあまりの悲さ

すさまじさにつらく悲しい気持ちがおしよせてきました。もし、僕がこんな体験をしていたら、今とはまったく違つた生活や考え方をしているなと思ひました。僕はこの5日間、南富良野町の6年生みんなと一緒に体験の旅をして、北海道とは違う南の島の豊かな自然と文化にふれる良い機会でした。また、沖縄で出会つた人達との温かい交流は、本当に楽しかつた思い出として大切にしまつておこうと思ひます。



最高だつた真夏の沖縄
下金山小学校
下金山 崇人

僕

が、「南の国の真夏に挑む体験の旅」で1番心に

残っていることは、沖縄の歴史に触れたことです。平和祈念公園に行つて、「平和の礎」を見て、たくさんの方の戦死した人たちの名前を見ました。そして、その人たちがご冥福を祈りました。

平和祈念資料館では、戦争当時の写真や兵士の持ち物の水筒などがありました。僕は、「なぜ、こんなな

た戦争をしたのか？」と思ひました。

沖縄に行つて、戦争の意味の無さや今の日本が平和で良かったと実感しました。

2番目に心に残っている体験は、グリーンフラッシュビーチでのマリンスポーツです。特にバナナボートに乗つたことが楽しかつたです。救命胴衣やヘルメットをつけて、乗りこみました。係りのお兄さんのかげ声で出発しました。あまりにも速く、バナナボートを引張っているジェットスキーの水しぶきが口に入つて、すくしょっぱかつたです。砂浜では、たくさん貝がらが落ちていました。僕と

仲間と、一緒に拾いました。いろんな貝がらがあり、とてもきれいでした。

ホームステイも心に残っています。ホームステイ先では、最初にパッションフルーツや沖縄そばやゴーヤチャップルーやパインを食べました。珍しい食べ物ばかりでたくさん食べました。ホームステイ先のおばあちゃんの方言がまつたくわからず、向こうのお父さんが、通訳してくれました。

夕食の後には、ポウリングにも行きました。僕は、スコアが120点くらい取れました。

伊豆味パイナップル園では、ハブの実物を見ました。また、ヘビを首に巻いて写真を撮りました。ヘビは、冷たくて気持ちよかつたです。その後、シヨウの係りの人が、ハブの口の中に鉄の棒を入れて、牙を出させて、毒をだらだら出させてくれました。昔は一面パイナップル園だったのに、今では十分の一位の大きさになつたそうです。僕は、もつとパイナップルがあれば良かったのと思ひました。

今回、沖縄に行つて、とても暑かつたです。昔は戦争などで大変なことがあつたことがわかりました。けれども、すばらしいところをたくさん見学できてうれしかつたです。ホームステイ先のシクタ君と仲良くなつたり、一緒に行った南富良野町のみんなと仲良くなつたりできて、とても良かったです。

沖縄に連れて行つてくださったみなさん、本当にありがとうございました。